

- 住所 / 〒818-0013 福岡県筑紫野市岡田 3-10-9
- TEL / 092-926-4711
- 従業員 / 97名
- 代表者 / 田名部徹朗
- 資本金 / 85,000千円
- 設立 / 昭和47年 3月
- 業種 / 半導体液晶部品、産業機械製造
- 承認日 / 平成21年 4月24日
- 類型 / 1 2 3



テーマ

3次元機械モデルによるシーケンスシミュレーター装置の開発及び製作・販売体制の確立

- ハードのものづくりからソフト開発にチャレンジ
- 産・学・官連携業務へ初の試み
- 目標を明確にしたことで社員の意識が変わる

背景

当社と懇意のCADメーカーより、FA機器メーカーと共同で新しいシミュレーション装置の開発委託を受け、顧客への開発支援業務の中から新しいシミュレーター技術に取り組むこととなった。近年、需要が増大している液晶・太陽光等の大型パネル搬送装置業界での開発支援ツールとして、技術改良を施し実用面に耐える「シミュレーション装置」を開発することで、九州から日本全国をターゲットとした拡販を行い、利益率の大幅な向上を目指す。

取組内容

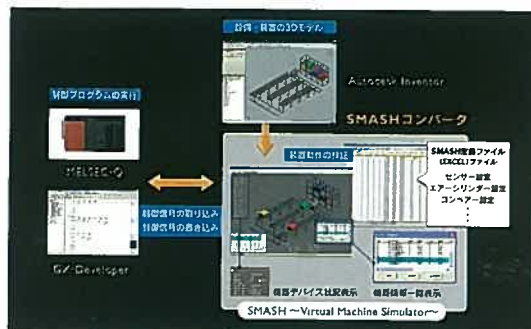
今回の新シミュレーション技術は、当社で培ったきた機械設計と電気制御設計の技術をベースに、それらを従来方式とは違う当社独自の交換ソフトを介して実現させた仮想空間上で、実機さながらの動作（実機と同期された動作）で再現しようとするものである。汎用性が増せば太陽光パネル製造装置、液晶製造装置、搬送装置メーカーの品質向上、コスト削減に寄与でき、さらにはこれらのメーカーに部品供給を行うFA機器メーカーの拡販支援にも貢献できると考えている。

達成状況

このソフト開発でデバッグ（間違い探し）の開発期間の短縮や実機テストでは実現困難な異常事態の再現等を従来より簡便で安価にバーチャル上で実現できた。既に商品開発は終了し、「SMASH」の商品名で、現在モニターとして使用されている。開発期間の短縮や実機テストでは実現困難な異常事態の再現などが顧客にとってメリットとして評価されている。今後他社メーカー分にも接続できるように改良が求められている。

今後の展望

経営革新計画に取り組む中で、新商品開発の目的が鮮明化し、社員が一致団結して目標達成に向けて行動することができた。また産・学・官連携の中で、新たな知識、支援を受けることができ、技術革新のための交流の場が広がった。さらに公的機関からの補助を受けることで資金面でも大いに役立った。現在は三菱電機製品でのみ動作するものであるため、今後は、他社製品でも動作する製品に改良していく方針である。



代表者からひとこと



元々当社は30数年来、各種機械装置のカバー・筐体をつくる製缶板金企業として業務を続けてきました。今回初めてハードのものづくりからソフトのものづくりに挑戦し、3次元機械モデルによるシーケンスシミュレーター装置の開発に成功することができました。経営革新に取り組む中で社員の意識改革が進み、産・学・官連携の恩恵に預かったことが成功の大きな要因と考えます。